

令和 7 年用乾燥秘伝(青大豆)病虫害防除基準

※乾燥秘伝（大豆）とえだまめでは、農薬は同じでも使用方法、時期が異なる場合がある。
※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

発行：J A さ が え 西 村 山
さがえ西村山野菜振興協議会

病害虫重点防除

時 期	は	種	前	開 花 7 日 後	開 花 20 日 後	開 花 30 日 後
殺虫・殺菌剤	クルーザー FS30 クルーザー MAXX	} のいずれかを 塗沫処理する。	トレボン粉剤 D L トレボン乳剤	} のいずれか	スミチオン乳剤 スタークル粉剤 D L	} のいずれか

【病虫害防除】

作業	RAC コード	薬 剤 名	使 用 方 法				対 象 病 害 虫									注 意 事 項
			倍 率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	紫斑病	タネバエ	フタスジ メハムシ	アブラ ムシ類	カメム シ類	ハスモン ヨトウ	マメシ クイガ	ダイズサ タマバエ	ネキリ ムシ類	
播 種 前	4 A 12 4	クルーザーMA X X	乾燥種子 1 kg当たり原液 8 mℓ 塗沫処理		播種前	1 回	●	●	●	●				●	●登録：ハト、キジバト、茎疫病、黒根腐病 ※紫斑粒を取り除く等、無病種子を使用する。 ※クルーザーMA X X、クルーザーF S 30の 他に薬剤を処理する際は、先にこれらを処 理し、よく乾燥させてから使用する。 ※クルーザー剤の総使用回数は1回	
	4 A	クルーザーF S 30	乾燥種子 1 kg当たり原液 6 mℓ 塗沫処理		播種前	1 回		●	●	●				●		
	M 3	キヒゲンR-2フロアブル	乾燥種子 1 kg当たり原液20mℓ 塗沫処理		播種前	1 回	●	●							●登録：苗立枯病 ※チウラム剤処理済みの種子にはキヒゲンR- 2フロアブルを使用しない。	
	1 B	ダイアジノン粒剤5	6 kg／10a 作 付 前：全面土壌混和又は作 条土壌混和する。 作物生育中：作条処理して軽く覆 土する。		30日前	5 回 ※生育期 の処理は 4回以内		●						※●	●登録：コガネムシ類幼虫 ※ネキリムシ類防除の場合は、土壌表面散布	
		ネマキック粒剤	20kg／10a 全面処理土壌混和		播種前	1 回										
	1 A	バイデートL粒剤㊟	30kg／10a 全面土壌混和		播種前	1 回										●登録：ダイズシストセンチュウ 1. 連作を避ける。 2. 同じ薬剤の連用をしない。
6 kg／10a 作条土壌混和			播種前又 は定植前	1 回												
は播 定種 植前又	1 B	カルホス微粒剤F㊟	6 kg／10a 土壌表面散布土壌混和处理		播種時	2回以内		●							※ネキリムシ類の産卵を抑えるため、播種前 から除草対策の徹底を図る。 ※タネバエの使用時期は「播種時」のみの登 録のため注意する。 ※えだまめでは使用回数が1回	
は播 定種 植時又					播種時又 は定植時	2回以内								●		
生 育 期			オルトラン水和剤	1,000倍	100～300 ℓ	60日前	3回以内				●		●	●		※えだまめでは使用時期が収穫21日前まで
			スミチオン乳剤	1,000倍	100～300 ℓ	21日前	4回以内				●	●		●	●	●登録：ウコンノメイガ、シロイチモジマダ ラメイガ
	1 B 1	スミトップM粉剤	4 kg／10a 散布		開花期～ 若莢期 但し21日前	4回以内	●				●		●		●登録：シロイチモジマダラメイガ ※えだまめには登録がない。	
	3 A	トレボン乳剤	1,000倍	100～300 ℓ	14日前	2回以内				●	●	●	●	●	●登録：ウコンノメイガ、シロイチモジマダ ラメイガ ※【合成ピレスロイド剤】（トレボン）の総 使用回数は2回以内 ●登録：シロイチモジマダラメイガ	
	3 A	トレボン粉剤D L	4 kg／10a 散布		14日前	2回以内				●	●	●	●	●		
	M 1	Zボルドー	500倍	100～300 ℓ	—	—	●								●登録：斑点細菌病、葉焼病	
	10 1	ゲッター水和剤	1,000倍	100～300 ℓ	14日前	3回以内	●									
	4 A	スタークル粉剤D L	3 kg／10a 散布		7日前	2回以内				●		●		●		
28	ヨーパルフロアブル	5,000倍	100～300 ℓ	7日前	2回以内						●	●			●登録：ウコンノメイガ、コガネムシ類	
28 15	ミネクトエクストラSC	10,000倍	100～300 ℓ	7日前	2回以内						●	●	●			

★農薬の使用にあたっては、使用回数に加え、有効成分ごとの総使用回数も定められているので遵守する。

成 分 名	RAC	農 薬 名	使用回数	同一成分 総使用回数	備 考	成 分 名	RAC	農 薬 名	使用回数	同一成分 総使用回数	備 考		
エトフェンプロックス	3A	トレボン乳剤	2 回以内	2 回以内		チオファネートメチル	1	トップジンM水和剤	4 回以内	4 回以内	種子への処理 1 回以内		
		トレボン粉剤 D L	2 回以内					トップジンM粉剤 D L	4 回以内				
M E P	1B	スミチオン乳剤	4 回以内	4 回以内			1B,1	スミトップM粉剤	4 回以内				
	1B,1	スミトップM粉剤	4 回以内				10,1	ゲッター水和剤	3 回以内				
チアメトキサム	4A,124	クルーザー MAXX	1 回	3 回以内	は種子前の塗沫処理は合計 1 回以内								
	4A	クルーザー FS30	1 回										